

# 便利なe-Taxのご利用を

## 税の申告は2月18日～3月15日

平成30年分市・府民税、所得税（確定申告）の申告受付が、2月18日から始まります。期間内に申告できるよう早めに準備しましょう。また、受付期間中は、会場が混雑します。確定申告をする人は、自宅からでも申告できる、e-Taxをご利用ください。

### 豪雨等の被災者は確定申告を

市・府民税の申告が必要な人は、平成31年1月1日現在本市に住所があり▽平成30年1月1日から12月31日までに所得があった人▽所得税の申告が不要な公的年金受給者等で、配偶者控除等を追加する人—などです。

給与所得の年末調整をしていない人、公的年金受給者等で年金のほかに20万円を超える所得がある人などは、確定申告をしてください。また、平成30年7月豪雨や台風などで被災した場合、確定申告で雑損控除等が受けられます。詳しくは、福知山税務署☎(22)3121へ。

### ネットで簡単に申告書作成

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に従って入力するだけで、確定申告書を簡単に作成できます。e-Taxで送信できるほか、自宅のプリンタなどで印刷すれば、郵便や窓口での提出も可能です。また、給与所得者（年末



調整済み)で、医療費控除や寄附金控除を適用して申告する人は、スマートフォンから利用できます。

### e-Tax利用が簡単に

インターネットで手軽に確定申告できる、便利なe-Tax。利用にはマイナンバーカードと同カードを読み取る機械が必要です。現在、同カードが手元にない人でも、IDとパスワードの入力だけでe-Taxが使えます。IDとパスワードの発行を希望する人は、運転免許証などの本人確認書類を持参の上、福知山税務署へ。なお、この方法はマイナンバーカードが普及するまでの暫定的な対応です。早めのマイナンバーカード取得⇒本紙12月号参照⇒をおすすめします。

## 市・府民税の申告受付・相談

期間／2月18日(月)～3月15日(金)

※土・日曜日を除く

時間／午前9時～正午、午後1時～4時

場所／市役所まちづくりセンター2階

申告に必要な書類／

マイナンバーカード（もしくはマイナンバー通知カードと本人確認書類）、源泉徴収票（給与所得者、年金受給者）、生命保険料や地震保険料の支払額証明書、医療費控除明細書など

問い合わせ／

税務課市民税担当 ☎(42)4235

## ご利用ください無料申告受付・相談

税理士による所得税の申告受付・相談

日程／2月1日(金)、2日(土)、19日(火)、21日(木)

時間／午前9時30分～正午、午後1時～4時  
(3時30分受付終了)

場所／保健福祉センター（青野町）

※21日のみI・Tビル（西町一丁目）

問い合わせ／福知山税務署 ☎(22)3121

綾部商工会議所主催 所得税の申告受付・相談

日程／2月22日(金)、23日(土)

時間／午前9時30分～正午、午後1時～4時  
(3時30分受付終了)

場所／I・Tビル（西町一丁目）

問い合わせ／綾部商工会議所 ☎(42)0701

※いずれの相談も、土地・建物・株式等の譲渡所得、贈与税、相続税についての申告・相談は行いません。

～申告にはマイナンバーの記載と本人確認が必要です～

# 平成30年度12月補正予算と事業見直し

## 災害復旧を最優先に

総額8億3673万円の補正予算案が12月定例市議会で可決されました。うち災害復旧事業費は7億8118万円。既に予算化していた分を合わせると約25億円となり、本年度だけで過去5年分の災害復旧事業費約16億円を超えました。財政調整基金が減り、緊縮財政へと舵を切らなければなりません。市は行財政健全化の取り組みとあわせ、本年度に予定していた事業の一部を先送りします。

### 約40事業を見直し

本市は、平成25年度から6年連続で被災。その対応等で平成25年度末に23億6千万円あった財政調整基金は12月補正時点で2億6千万円まで減少しました。大雪への備えや来年度の予算編成に財源を確保する必要があります。

そこで、市は行財政健全化委員会を設け▽市役所南庁舎の改修▽JR高津駅前広場の舗装▽あやべ温泉の宿泊棟改修（温泉棟は実施）▽市道改良の一部▽中筋小学校体育館屋根の改修▽総合運動公園体育館照明の改修―など、平成30年度事業の一部を次年度以降に先送り。さらに、備品購入や維持補修なども含め、約40事業の見直しを検討しています。

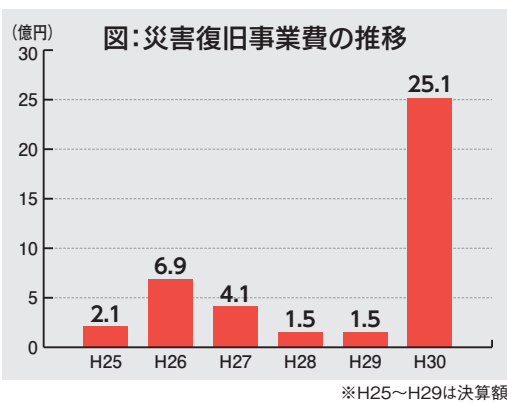
また、人事院勧告に準ずる職員の給与改定も先送り。給与改定（特別職等の賞与含む）を昨年4月にさかのぼらず、今年1月からの実施とし、一般職員分で1020万円を削減しました。

### ブロック塀撤去に補助

12月補正予算では一般会計に8億2310万円を計上。

災害復旧費のほか▽志賀小・上林小学校区での放課後学級の開設準備に459万円▽危険なブロック塀等の撤去への補助Ⅱ8面参照Ⅱに60万円―などの事業を実施します。

特別会計・公営企業会計には1363万円を計上。その主な内容は、桜が丘団地の新築住宅の増加に伴う新築促進補助金や、販売促進報奨金の経費などです。



## 善言語録

### 猪突猛進

107

昨年はいろんな慶事にも恵まれたが、本市にとって災害対応に追われた一年であったと言っても過言ではない。そしてその影響は「過去形」に留まらず、様々な傷跡を引きずりながら新年を迎えた。引き続き災害復旧を最優先に取り組みとともに、災いの少ない安寧の一年となることを祈るばかりである。

今年には平成最後の年であり、干支は「亥」。そして亥にまつわる言葉と言えば「猪突猛進」。読んで字の如く「猪のように猛烈な勢いで突き進む」ことであるが、しばしば「周囲の他人の」とや後先を顧みずに行動する」様を言い、あまり「良い意味」には使われない。しかしもう少し調べてみると、亥は十二支の最後にあたり、植物で例えるならば花や葉が落ちて種の中にエネルギーが充満している状態を指すという。人間に当てはめると、既成の秩序を見直して次に備える時期であり、具体的には個人は知識を増やし精神を鍛え直し、組織は人材育成や財政基盤を固める機会：つまり内部の充実を心掛ける年であるという。

ところが実は、為政者にとってこの「内部の充実」はけっこう辛いものなのである。成果の具現を即求められる時代にあって、水面下の水かきは我慢を要する。しかしながら財政再建などは、目標を定めてひたすら突き進むくらいの覚悟なしでは実行は困難であり、「良い意味」での猪突猛進、を年初の抱負としたい。

山崎善也（綾部市長）

# ものづくり交流館展示紹介 #5 関西電力



住 綾部発  
みたくなる...  
情報  
58

市は、綾部駅北口の北部産業創造センター「綾部市ものづくり交流館」の展示スペースを1回5,000円で貸し出し、広報紙でも紹介しています。今回は、2月1日まで展示される関西電力です。

## ◆ 家庭の省エネを提案

関西電力は、日本のエネルギー分野において、業界をリードする企業。各種エネルギーの発電や送配電、販売などを行っています。同社福知山営業所は、府北部の家庭を対象に、電気料金の相談等を受け付け。オール電化をはじめ、光熱費削減につながるメニューを各家庭に応じて提案しています。また、電気トラブル発生時は、無料で対応する「でんきの駆けつけサービス」なども提供しています。

## スマホアンケートに答えて はぴ太グッズ を プレゼント

展示期間中、パネルのQRコードを読み取り、

アンケートに回答した先着100人にプレゼント。グッズはいずれか1点で、選択はできません。プレゼントは、後日同社から郵送されます。

※掲載写真以外のグッズもあります。



## 「はぴeタイムR」が新登場!

平成31年4月からオール電化向けの料金メニュー「はぴeタイムR」が登場します。省エネ給湯機「エコキュート」と「IHクッキングヒーター」を採用すると、電気料金を5%割引く「電化割引」を設定。詳しくは、福知山営業所へ。



関西電力福知山営業所  
家庭の省エネエキスパート  
鈴木隆裕 副長

### ■ 会社概要

名称 関西電力株式会社  
代表者 岩根茂樹  
業種 電気事業 他  
資本金 4,893億円  
従業員数 20,848人  
電話 0773(23)0598  
ホームページ  
<https://www.kepcoco.jp/>

## ◆ はぴ太グッズも展示

今回の展示では、同社の暮らしに役立つサービスをパネルで紹介。お得な電気料金メニュー「はぴeタイム」や省エネ性能の高い給湯機（エコキュート）などについて、分

かりやすく説明しています。また、同社のキャラクター「はぴ太」グッズも展示されます。はぴ太は、ゆるキャラグランプリ2018企業部門で、1位を獲得した人気のキャラクター。来館者には、グッズプレゼントも左側があります。



関西電力福知山営業所  
藤田隆文 所長

電力の小売全面自由化を迎え、お客さまや社会の皆様から「信頼」を賜うことで、弊社をお選びいただけるよう、全力で快適な生活空間を提案してまいります。ぜひ一度、展示をご覧ください。



## ふるさと産品を全国へお届け — 水源の里 老富

あやベ特別市民へ送る「第2回ふるさと産品・基本セット」の梱包作業が12月18日、老富町の老富会館で行われました。市内で生産された特産品7品などが入った1,516個のセットを、水源の里・老富（渡辺剛代表）の会員など約20人が手分けして箱詰め。「選択セット」を選んだ406人分と合わせて、全国1,922人の特別市民に届けました。

## 平和の鐘を打ち初め — 元旦国旗掲揚式

日本ボーイスカウト綾部第2団（猪岡敏一団委員長）は1月1日、上野町の藤山（寺山）山頂で毎年恒例の国旗掲揚式を開催。国旗と市旗、世界連邦旗の掲揚や市民憲章の唱和、平和の鐘の打ち初めなどが行われました。約200人が参加し、新たな思いで新年を迎えました。



## ロボットのプログラミングを体験

市と府などは12月25日、青野町の北部産業創造センターでプログラミング体験教室を開催。小学5、6年生と中学生の19人がロボットを組み立てた後、タブレット端末を使ってロボットの動きを制御するプログラムを作りました。参加した西村龍成くん（東綾小5年）は「難しかったけれど、プログラミングした通りに動いて面白い」と、障害物を避けながら動くロボットに夢中でした。

## 市立病院に新任医師

市立病院（高升正彦院長）の整形外科に1月1日、医師が新たに赴任しました。着任にあたり「一人ひとりの状況に応じた地域医療を行い、生活水準の維持・向上を手助けできるように精進します。日々の努力を怠らず、市民の皆様とのコミュニケーションを大事にして頑張ります」と話す中澤拓医師。毎週水・金曜日の診療を担当します。

